

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	飽食時代の現代日本における、ビタミンB1欠乏症と関連する因子の探索研究		
1. 研究の目的と方法	ビタミンB1欠乏症は、以前は「脚気」として国民病として知られていましたが、食物が豊かになり、栄養失調を起こすことがなくなったため、現在ではほとんど気にされなくなってきました。しかし、飽食時代の現代日本においても、ビタミンB1欠乏症患者は多く存在しています。初期症状が「だるさ」などはっきりしないものが多く、診断に至らない場合が多いですが、筆者は大学病院総合診療部門で、こうした今まで診断に至らなかったビタミンB1欠乏症患者さんの診療に携わっています。これまでの経験の中で、いくつかの共通した原因を見出し、診療の手がかりにしていますが、今回、過去に診療した患者さんの症状や検査結果の特徴から、客観的に原因を見出す研究を立案しました。方法としては、血液検査でビタミンB1欠乏が見られた患者さんのカルテ情報をさかのぼり、その共通した特徴を見出します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	ビタミンB1欠乏症の患者さんで、2018年1月1日～2024年7月31日の間に東京慈恵会医科大学附属柏病院で診療を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、BMI、主訴、症状、食生活、飲酒歴、食欲、身体活動状況、血圧、脈拍、基礎疾患、薬剤歴、治療の有無とその後の経過、血液検査結果	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部（大学院代謝・栄養内科学）
		氏名	羽田野 貴裕
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始日：2023年3月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部（大学院代謝・栄養内科学） 研究責任者：羽田野 貴裕（ハダノ タカヒロ） 電話番号：04-7164-1111（内線 2888、内科スタッフルーム） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。